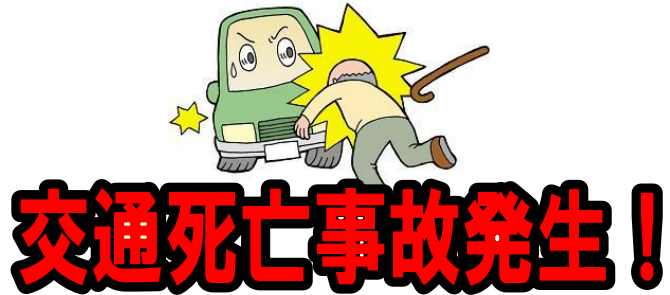




高齢 歩行者被害の 高齢 ドライバーによる 高齢 者同士の



令和2年10月10日(土)午前10時9分頃、下関市今浦町の国道上において、69歳男性運転の普通乗用車と94歳男性の歩行者が衝突し、歩行者が亡くなる交通事故が発生しました。

車を運転するとき、道路上には様々な死角(見えない部分)が存在します。死角をしっかりと認識し、見えない危険を予測した運転で交通事故を防止しましょう。



本年、山口県内では、交通事故により亡くなられた方27人のうち高齢者が12人と全体の44.4%を占めています。



歩行者も
しっかり
安全確認
してね。

少し考えてみて!

～高齢ドライバーの方へ～

家族のためにも!

年齢を重ねると、身体機能や情報収集能力などが低下しがちになりますので、そのことを自覚して安全運転に努めましょう。下記のことを少し考えてみて下さい。

○ 交通安全定期診断の実施

自動車教習所で無料の交通安全指導を推進しています。加齢に伴う身体機能の低下や、自分の運転技能を再認識しましょう。



○ 安全運転サポート車の活用

安全運転サポート車は、「自動ブレーキ」や「誤発進防止」など安全運転を支援する技術を搭載しており、交通事故の防止や被害の軽減に役立ちます。



○ 運転卒業証制度の活用

運転免許を自主返納された65歳以上の方に運転卒業証と運転卒業者サポート手帳を交付しています。支援企業・団体に手帳を提示することで公共交通料金の割引など様々なサービスを受けることができます。



★みんなで守ろう大切な命★